

目スタート!!

信頼のこまつしま～

無投票再選

任期満了に伴う「小松島市長選挙」は、1月18日告示され、現職の稲田米昭市長（63歳・立江町）以外に立候補の届出がありませんでした。

1月27日、小松島市選挙管理委員会（川口常雄委員長）より当選証書が付与され、稲田市長の無投票再選が決定しました。

稲田市長の任期は、平成21年2月3日から平成25年2月2日までの4年間。「安全」「安心」「信頼」の3つをキーワードに、未来明るい小松島市を目指して2期目がスタートしました。



初登庁式

2月3日、普段と同じようにJRで2期目の初登庁をされた稲田市長は、市役所会議室で催された初登庁式に出席されました。

花束を受け取った稲田市長は「様々な問題が山積するなか、職員の皆さん方にご支援を賜りながら、『市民の皆さんとともに進めるまちづくり』『明るい兆しが見えるまち』を目指し今後4年間取り組んでまいりたいと思います。市民の皆さんのために、私自身も皆さん方とともに汗をかきながら、工夫と知恵を絞り一生懸命取り組んでまいります



ので、ご協力をお願いします」と就任のあいさつをされました。

市長にきく

4年前の思いと現実

ちょうど4年前、思い切った行財政改革を断行し『信頼される小松島の市役所づくり』『市民が主役のまちづくり』を進めて行きたいという思いを胸に市長に就任いたしました。

皆様方のご支援をいただきながら市政を担ってまいりましたが、厳しい財政状況のなか、思ったことが十分に出来ず4年間の過ぎ去りという思いがしております。

選挙をつけて

このたび、無投票当選という榮譽をいただきました。今回の再選は、私の市政の取り組みについてある程度評価をしていただいたと同時に、今後、4年をかけて小松島市の再生を託されたものであると受け止めております。

1期目を振り返って

今日までの1期4年間は「市民の皆様から信頼をされる市役所、市政づくり」を基本理念として、小松島市行政改革「集中改革プラン」に基づき、市内3中学校の給食調理業務や公立保育所2ヶ所の民営化、職員数の削減や給料カットなど「行財政改革」を推進してまいりましたが、未だ、道半ばであります。

2期目にあたり

2期目の任期を開始するにあたり、行財政改革を断行し、かつ市民の皆様との協働の意識を大切にしながら、「安全」「安心」「信頼」の3つをキーワードに、未来明るい小松島市を築きあげるとの思いを胸に、市政運営を進めてまいります。

